

USER MANUAL JAPANESE

00:01 BOARDS



CABRINHA 

WARNING

安全のために必要な以下の内容に同意できない場合、この商品の使用を禁じます。また以下の内容は不定期に変更されることがあります。最新の情報をアップデートするために、絶えずカブリナ・カイトサーフィンのホームページ WWW.CABRINHAKITES.COMをご覧ください。

使用者が18歳以下の場合、両親または保護者に以下の警告やインストラクションに関する項目とユーザーマニュアルを読んでもらう必要があります。レッスンを受け、インストラクターかマニュアルを読んだ者の監督下でしかこの製品を使用できません。

この製品にはその使用に伴い、予期せぬ危険が起こる可能性があります。カブリナおよび販売店は、当製品以外の資産の損失や他資産の消費に生じた損失、あるいはその他の経済的損失を含め、しかしそれに限定されず、いかなる特別的、間接的、付随的、結果的、法的もしくは模範的損害に関して、契約行為であったか、不法行為や過失があったか、厳正な賠償責任であったかを問わず、一切責任を負わないものとします。

カイトボードは激しいスポーツです。パワーカイトやそれにつながるライン、コントロール・エクイップメントは、使用者自身や周りの人々に危険を及ぼす可能性があります。カイトボードを行う際は真剣に、慎重に取り組み、経験が浅いライダーはプロのインストラクターや経験豊富なカイトボーダーのレクチャーを受けることをお勧めします。カイトの使用方法が正しくない場合は、ライダー自身や周りの人々に深刻な怪我を負わず、または最悪の場合には死に至らしめる可能性があります。電線や空港、建物、道路、樹木の近くではカイトを使用しないでください。カイトボードを行って良い場所で行うようにしてください。また、カイトのフライングラインが人や物に触れないようご注意ください。カイトは常に見通しの良い場所でご使用ください。風や天候に留意し、特に、オフショアやオンショア、強風時には注意が必要です。陸上で完全にカイトの操作ができるようになるまで、水上でカイトを使用しないでください。ライダー自身と周囲の人の安全を守るため、カイトの操作に慣れるよう陸上で十分に練習を行ってください。カイトを使用する際の安全面の責任は、すべてライダー自身にあるということを絶えず頭に入れておいてください。このスポーツを練習する際には、自己の限界を留意し、無理をしないようご注意ください。海上でカイトを使用する際には、安全上、必ず保護防具や浮力体を身につけ、カイトとライダー自身をほどけないほどしっかりと繋がないようにしてください。カイトを飛行目的、浮力体として使用しないでください。

! WARNING

お勧めのカイトボーディング練習方法:

カイトボードはいろいろなスタイルやレベルに応じて楽しめる多様なスポーツです。しかし、他のスポーツと同様に先天的な回避しがたいリスクも伴います。カブリナカイトを使用する前に、下記の安全上のキーポイントを覚えておきましょう。

- カイトボードは危険を伴うスポーツで、カイトボードの使用者は人体のあらゆる箇所に 深刻な怪我をする怖れがあることを理解してください。
- カイトボードをする際に怪我をする危険性は非常に高く、カイトボードを始めようとする 使用者はそれを理解しなければなりません。
- 未成年は必ず監督者のもとでこの製品を使用してください。
- 初心者はまずレッスンを受けることを強くおすすめします。
- 使用する前には常にすべてのラインやキャノピー、ブラダー、ネジ、その他全般に、擦れや引き裂けの兆しがないかどうかチェックしてください。
- 擦れや引き裂けの兆しが見られた場合、使用前にただちにリペアやパーツ交換を行ってください。擦れや引き裂けに関する質問がある場合は、地元販売店にお問い合わせいただくか、ホームページ www.cabrinhakites.com をご覧ください。
- ライダー自身や他の人が怪我をする可能性がある状態やカイトボードのいかなるパーツを破損する可能性がある状態を絶対に避けてください。安全に自力で岸に帰って来られる状態を保ってください。
- 正規販売店で購入した正規製造パーツを使用してください。
- 海の状況やカレント、天気予報など、コンディションに関して勉強し、そういった情報を出艇する前に必ず確認してください。オフショアやオンショア、強風でセイルングする際には注意が必要です。
- 初めてのポイントに行った場合、出艇する前にまずはそのポイントに慣れることを心掛けてください。危険なものがないかどうか、地元のライダーに訊ねましょう。
- 遊泳者や小さな子供など、他のビーチ使用者に注意してください。ボードとカイトやラインを常にコントロールできる状態に保ち、ビーチや海上で風に吹かれて飛ばされないようにしてください。
- 常に十分な浮力体をつけてください。ウェットスーツやUV効果のあるトップスなど、適正なスーツを身に付けて出艇してください。ヘルメットの着用を強くおすすめします。
- 絶えず出艇あるいはビーチに戻ってくるタイミングを他の人に知らせてから行動しましょう。セイルングパートナーをみつけ一緒にビーチにいきましょう。
- コンディションの変化(風が落ちる、風や波が上がるなど)に注意し、変化の兆しが見えたときには、常にビーチに戻ってください。
- ビギナーのうちは自己の限界を超えるコンディションでカイトボードしないでください。
- この製品は改造や変更をしないでください。
- この製品は海上または雪上でカイトボードすることだけを目的としてデザイン、製造されています。
- このマニュアルにはカブリナカイトを陸上、水上、雪上で扱ううえで大切な安全面を明記しています。

! WARNING

雪上で使用する際の注意

- カイトボードの練習方法で留意しなければならない点は雪上での使用も含まれます。雪上でカイトを使用することがあるライダーは以下を熟読する必要があります。
- このカイトは雪上でのアトラクション製品として、完全にコントロールされ、しかるべきマナーのもとで広い雪の積もった広場で使用されなければなりません。
- このカイトを飛行目的で使用しないでください。峰や崖、斜面から上昇する目的でこのカイトを使用しないでください。
- ライダーがランディングする際に衝撃を受けるような、いかなるエアも行わないでください。
- 平坦でない地形やアイスバーン・コンディションなど、あらゆる山岳地で使用する際には十分な注意をはらう必要があります。山岳地の風は非常に不安定で、不意に風向きや強さが変わることがあります。
- 常に保護用のギアを身につけて使用してください。特にスノーボード専用のヘルメットの装着を強くおすすめます。
- カイトの飛行中は車やスノーモービルなど、それが動いているか否かに関わらず、動く物とライダーを接続しないでください。
- 常にカイトを十分にコントロールでき、人や障害物を避けたり止まれるように保つ必要があります。
- スノーカイト：風下や下り坂にいるライダーには権利があります。自己の責任において他の人を回避してください。
- スノーボード：傾斜の下にいる人に優先権があります。ルールに従い回避することはライダーの義務です。
- 他の人を邪魔をしたり見えない所で停止しないでください。
- 動き始める前には風上や斜面上、回りに人がいないことを確認してください。
- 常に流れ止めを使用してください。流れ止めを外す必要がある場合は、バインディングを雪につきさすようにしてスノーボードを山側に置き、ボードが滑らないようにします。
- すべての看板等、掲示物を確認してください。
- 滑走禁止区域で使用しないでください。
- スノーボードと合わせてカイトを使用する前には、スノーボードに乗るための知識と安全に着脱できる能力が必要です。
- アルコールや薬の影響がある状況、または体調が優れない場合はスノーボードやスノーカイトしないでください。
- 雪山やスノーボード/スノーカイトのコンディションは絶えず変化します。人造物や樹木、岩、破片、斜面、雪崩地域、クレバス、崖、電線、リフトのライン、ウォーターハザード、太陽が照りつけることによって起る雪面の変化、風や天候の変化など、スノーボード/スノーカイトのコントロールに影響を与えるすべての事項に十分に注意してください。

ツインチップボードのアクセサリーの搭載

付属品

ボードハンドル X 1
ツインチップ用フィン X 4
M6X16MM搭載用ネジ X 10
ドッグボーンワッシャー X 4

搭載に必要な道具

P3ネジ回し

注意：ボードにアクセサリーを搭載する際、電動ツールを用いしないでください。ネジや挿入口を破損する可能性があります。その際の破損は限定保証の対象外となります。

まずはじめに

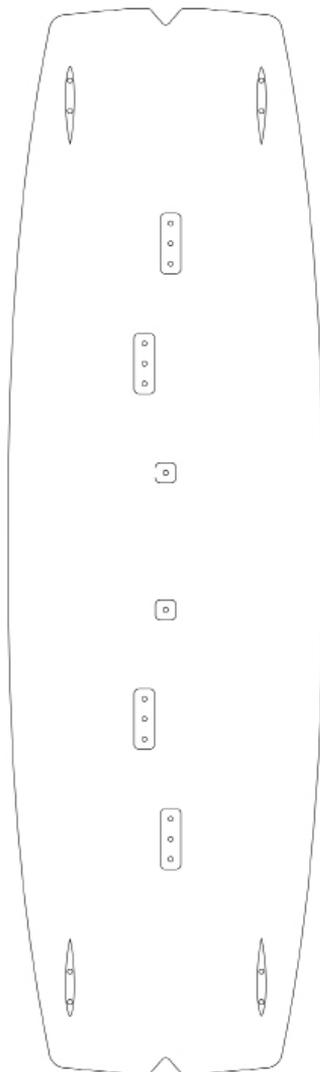
- 全てのアクセサリー類を梱包から出します。上記の内容物が全て揃っていることを確認ください。
- 全ての内容物が使用可能であることを確認します。
- ハンドルにネジを試しに取り付けます。
- フィン用ネジをそれぞれのボード上の穴に試しに通します。

ハンドルの搭載

1. 搭載用の穴を確認できるよう、正しい位置にハンドルを置きます。
2. ネジをネジを差し込み、下に押し込みながら回して止めます。

フィンの搭載

1. フィンは外側に向けて高さが増していくように搭載しますので、正しい位置を確認してください。
2. ボードのデッキ状の穴とフィンのネジ穴が重なるようにフィンを書きます。
3. ドッグボーンワッシャーをボードに置きます。
4. ネジを差し込み、回し止めます。
5. 他の3つのフィンも同じ手順で搭載します。



サーフ/foilボードのアクセサリーの搭載

付属品

サーフ・フロントパッド、フィン、フィン搭載キーは別売

foilボードは（Xブリード・foil、カットラス・foil、オートパイロット、クロスフライ、マクロ、スペシャルエージェント）のボードです。

搭載に必要な道具

フィン搭載用キー

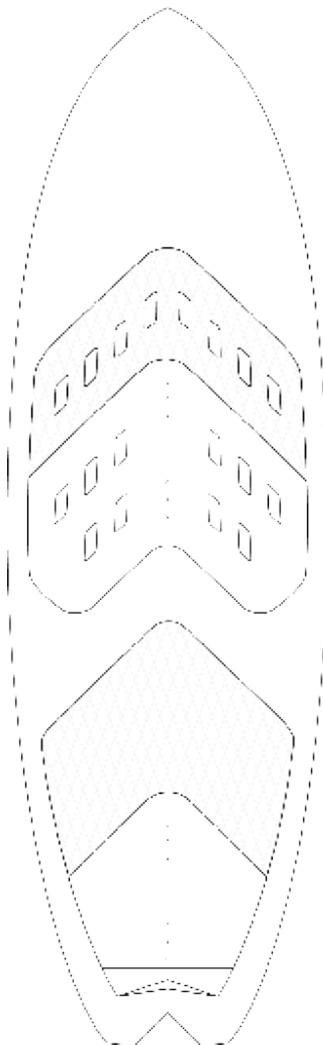
注意：ボードにアクセサリーを搭載する際、電動ツールを用いないでください。ネジや挿入口を破損する可能性があります。その際の破損は限定保証の対象外となります。

まずはじめに

- 全てのアクセサリー類を梱包から出します。上記の内容物が全て揃っていることを確認ください。
- ボードの搭載位置に問題がないどうか確認します。

フィンの搭載

1. ボードに合うフィンかどうか確認します。
2. それぞれのフィンの搭載位置を確認します。
（サイドフィンはレイル寄りの外側がカーブのある面となります）
3. フィン搭載用キーを使い、フィンのネジを緩めます。フィンボックス内側からはネジが見えない程度に緩めてください。
4. フィンを押し込み、ネジを閉めます。ネジの締めすぎには注意してください。



ボードへのアクセサリーの搭載

ボードにストラップをつける

搭載に必要な道具
P3ネジ回し

Hシリーズのバイディング

1. パッドの底を見て、バイディングの左右を見分けます。
2. H2Oは2種類のヒールインサートがついています。ソフトとハードです。どちらかを選択し、バイディングの底に挿入します。バイディングを搭載する前にインサートを入れてください。
3. H2Oには両サイドに角度を変えられるオプションが8箇所あります。中央の位置を選びます。ダックの角度とヒール等は後から調節可能です。
4. まずは外側（ボードに一番近い）のブロックを正しく並べます。ネジを使って仮止めします。
5. 中央寄りを配置します。ネジを使ってしっかりと固定します。
6. 仮止めした外側のネジをしっかりと閉めます。
7. もう一つのバイディングでも同じ作業を繰り返します。
8. ベルクロストラップを完全に緩めます。
9. パッドのアーチに足をしっかりと入れます。
10. 足の甲にぴったりと合うよう『ペロ』部分を使って調整します。注意：H2Oバイディングはスタンダードストラップよりゆとりを持ってセッティングして構いません。
11. ストラップ全体が足と馴染むようになるまで調整を繰り返します。
12. 足をストラップから出し、再度入れ直すことでフィット感を確認します。ライダーごとに好みのフィット感は異なります。バイディングがその性能を最高に発揮できるのは、足がバイディングの中で動かない程度にフィットしながら快適に長時間ライディングできる状態です。
13. 幅のサポートを変更したい場合は、足をバイディングから出し、搭載用ネジを使って内側の搭載ブロックを調整します。
14. 好みのフィット感を得られるまで4から6のステップを繰り返します。

サーフ/foilボードにストラップをつける

搭載に必要な道具

P3ネジ回しと5mm六角レンチ

注意：カブリナ・ウルトラストラップは別売

1. それぞれのストラップの取り付け位置を確認します。カブリナ・ウルトラストラップはストラップの幅が広い方をボードのノーズとテイルに向かうようにデザインされています。これは快適さとパフォーマンスを両立するため、ストラップがツイストしやすくルーズにフィットするよう設計されているからです。きつめのフィット感や固定感を希望される方はストラップの幅のある方を内側に向けることもできます。
2. カバー下のストラップの端にワッシャーを置きます。
3. アンチ・ツイストに搭載用ネジの1本を差し込みます。
4. ストラップをボードの希望する位置にネジで固定し、しっかりとねじ止めます。
5. 他の箇所でも同じ作業を繰り返します。

注意：ボードにストラップを取り付ける際、電動工具を用いしないでください。ネジが斜めに入ったり、挿入口を破損する可能性があります。こういった破損は補償の対象となります。

ボードを長持ちさせるために

ツインチップのメンテナンス

- カブリナのフィンやフットストラップ、アクセサリーと合わせてお使いいただくことをお勧めします。
- フットストラップとフィン搭載用ネジはしっかりと締めてください。ただし締めすぎにはご注意ください。
- ネジには多くの荷重がかかることがあります。そのため定期的にネジをチェックしてください。
- 頻繁にボードに破損や傷、ダメージがないかどうか確認しましょう。
- 傷等を見つけた場合は、使用する前に専用シール貼るなど処置をしてから使用しましょう。
- 太陽光線や傷、擦れなどが起こらないよう、使用していない時にはボードバッグに入れて保管しましょう。
- カブリナボードは丈夫にできていますといえ、壊れないわけではありません。キッカーやスライダーなどの障害物を使って起こった破損については保証の対象外となります。

サーフボードのメンテナンス

カブリナのサーフボードは軽量でハイパフォーマンスの製品で、波のあるところでカイトやサーフィンを楽しむためにデザインされています。

サーフボードはカイトループ等のジャンプをするために作っていません。通常の使用でもデッキの足が当たる部分に凹みが生じる可能性があります。軽量でハイパフォーマンスなこのタイプの他のボードと同じように、ハードランディングでボードが壊れる可能性があります。大きな波による衝撃でボードが壊れることがあります。岩やリーフなど、堅い障害物に当たった場合にもボードが壊れる可能性があります。

